

平成30年度 みやぎ心のケアフォーラム

震災後7年間の実践を 振り返って

足りなかったことや、これからについて

岩沼市健康福祉部健康増進課 菅原亜由美

震災後7年間の実践を振り返って

1. 岩沼の被災状況等
2. 1年目～7年目の活動について
3. 主な活動内容と一考察
4. 活動を振り返って

岩沼市の地域性と東日本大震災による被災状況 (津波浸水区域等)



昭和30年 4月1日千貫村、玉浦村と合併し新制の岩沼町となる
昭和46年11月1日市制施行し岩沼市となる

被災状況

○津波による浸水面積：市域の約48%

○人的被害

直接死180人（市民で市内死亡133人、市外死亡16人、市民以外で市内死亡47人）、間接死6人、行方不明1人

○住家・非住家被害

全壊736戸、大規模半壊509戸、半壊1097戸、一部損壊3086戸 合計5428戸

○がれき等の量：約50万t

○避難所・避難者数

開設期間 平成23年3月11日～6月5日、最大時6825人（3月13日時点、26箇所）

岩沼市の現在

震災前（H22国勢調査）

H30年7月末

人 口 44,187人  44,249人

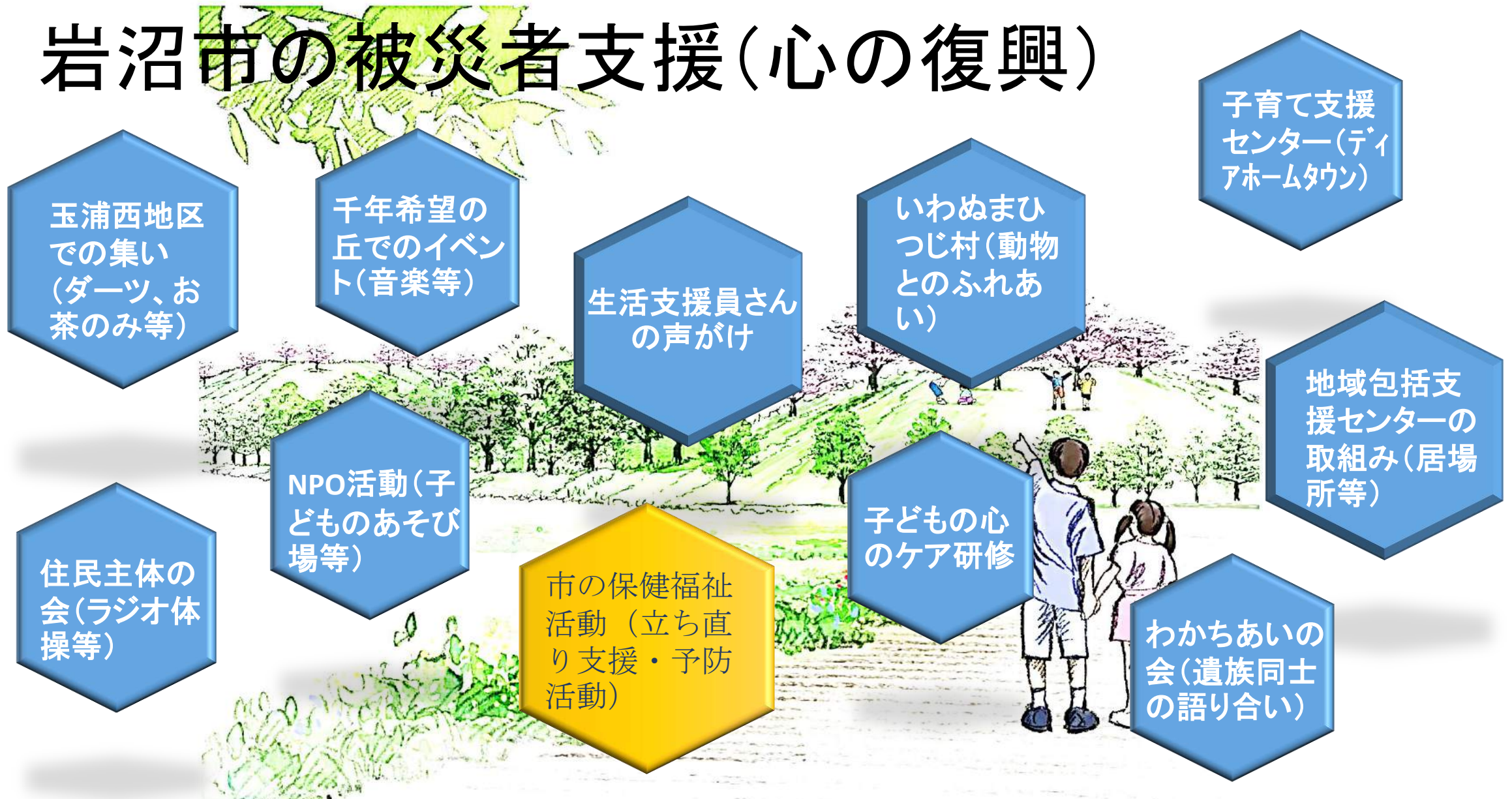
世帯数 15,519世帯  17,669世帯

震災前と比較し人口はほぼ同じだが世帯数は2千世帯増加している

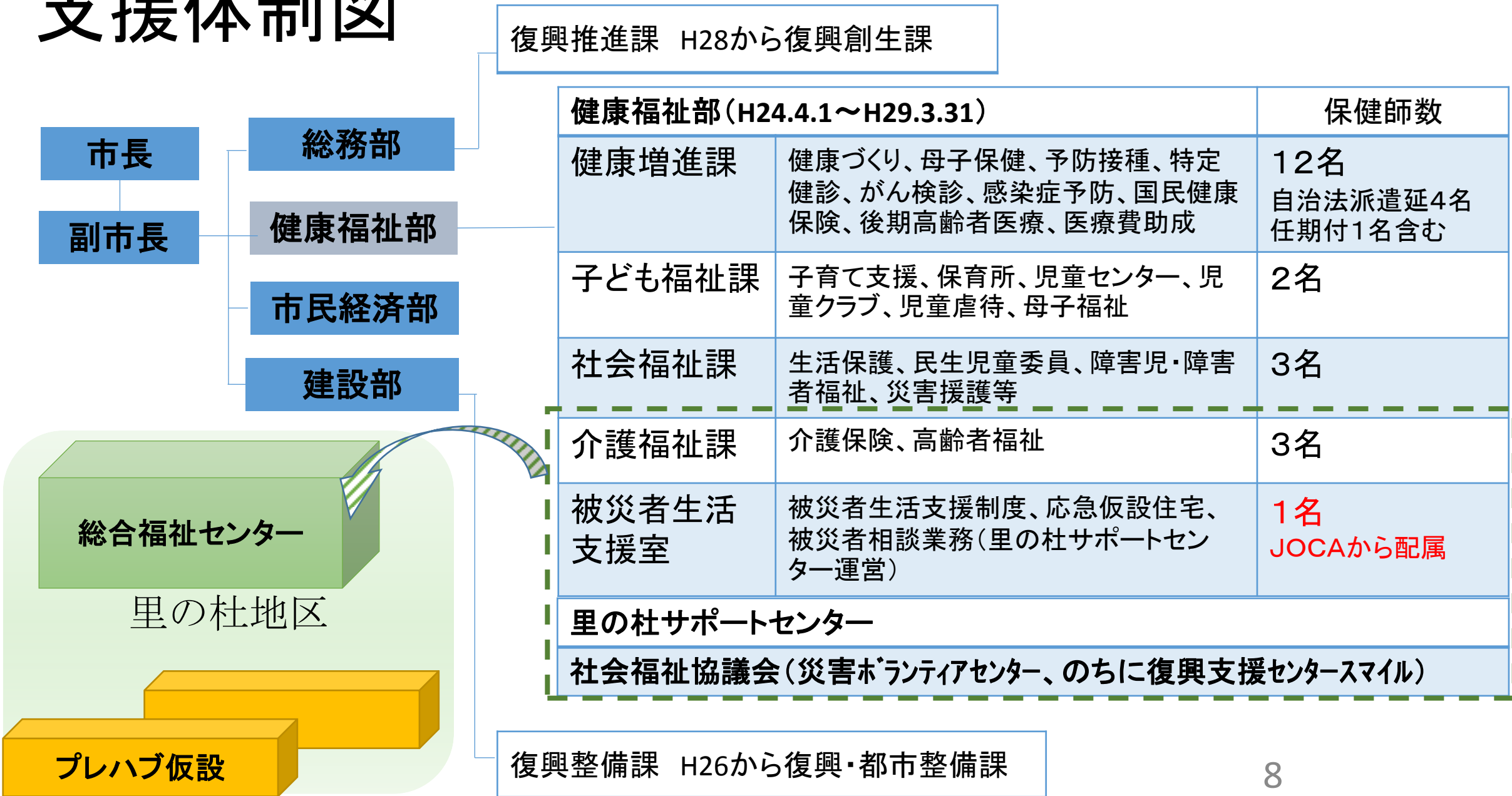
震災後7年間の実践を振り返って

1. 岩沼の被災状況等
2. 1年目～7年目の活動について
3. 主な活動内容と一考察
4. 活動を振り返って

岩沼市の被災者支援(心の復興)



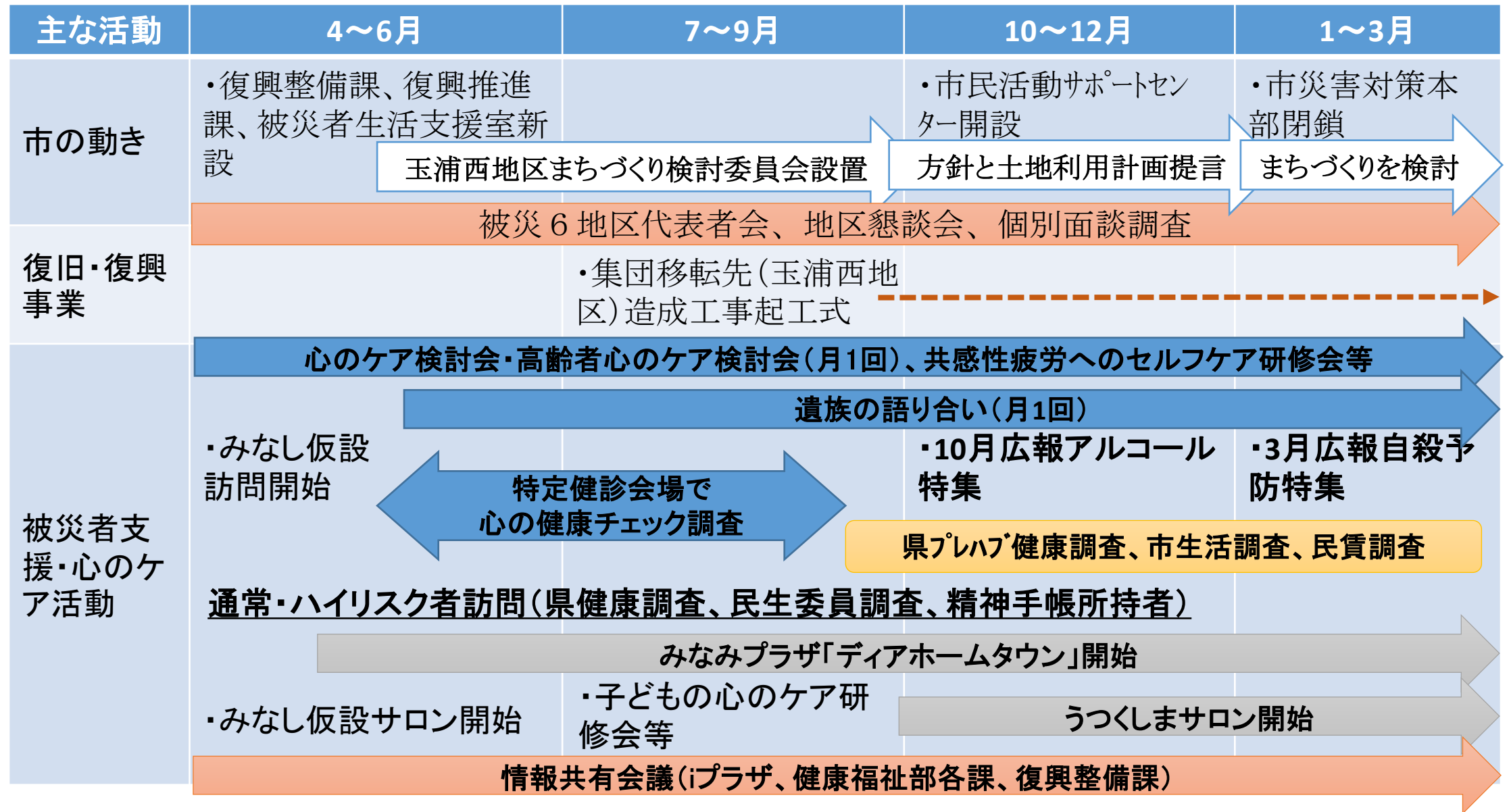
支援体制図



1年目(平成23年度)

主な活動	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
市の動き	・みなみプラザ開館 ・震災復興基本方針策定、震災復興本部・震災復興会議設置 ・市民図書館開館 ・震災復興推進室新設	・震災復興計画グランドデザイン・マスタープラン策定	被災地区との意見交換会（地区懇談会）開始、個別面談調査	
復旧・復興事業	・仮設住宅建設、入居 ・全避難所閉鎖		・集団移転先決定(玉浦西地区)	防災集団移転促進事業公表着手
被災者支援・心のケア活動	・各県(東北大学)心のケアチームと活動 ・仮設住宅説明会にて生活準備懇談会 ・避難所運動支援(健幸スマイル体操)開始 ・包括支援センター訪問見守り活動	健康調査(仮設、被災地区、独居高齢) ・里の杜サポートセンター開設 ・復興支援センタースマイル開設 ・仮設住宅でサロン開始 ・介護予防教室開催	・民生委員対象ゲートキーパ養成講座開催 ・民生委員民賃訪問相談事業 ・12月広報こころ特集① 心のケア活動本格化	・心のケア検討会開始 ・3月広報こころ特集②,セルフチェック票全戸配付 情報共有会議開始(いプラザ内)
サポセン、スマイル、市合同定期訪問/毎週金曜日				

2年目(平成24年度)



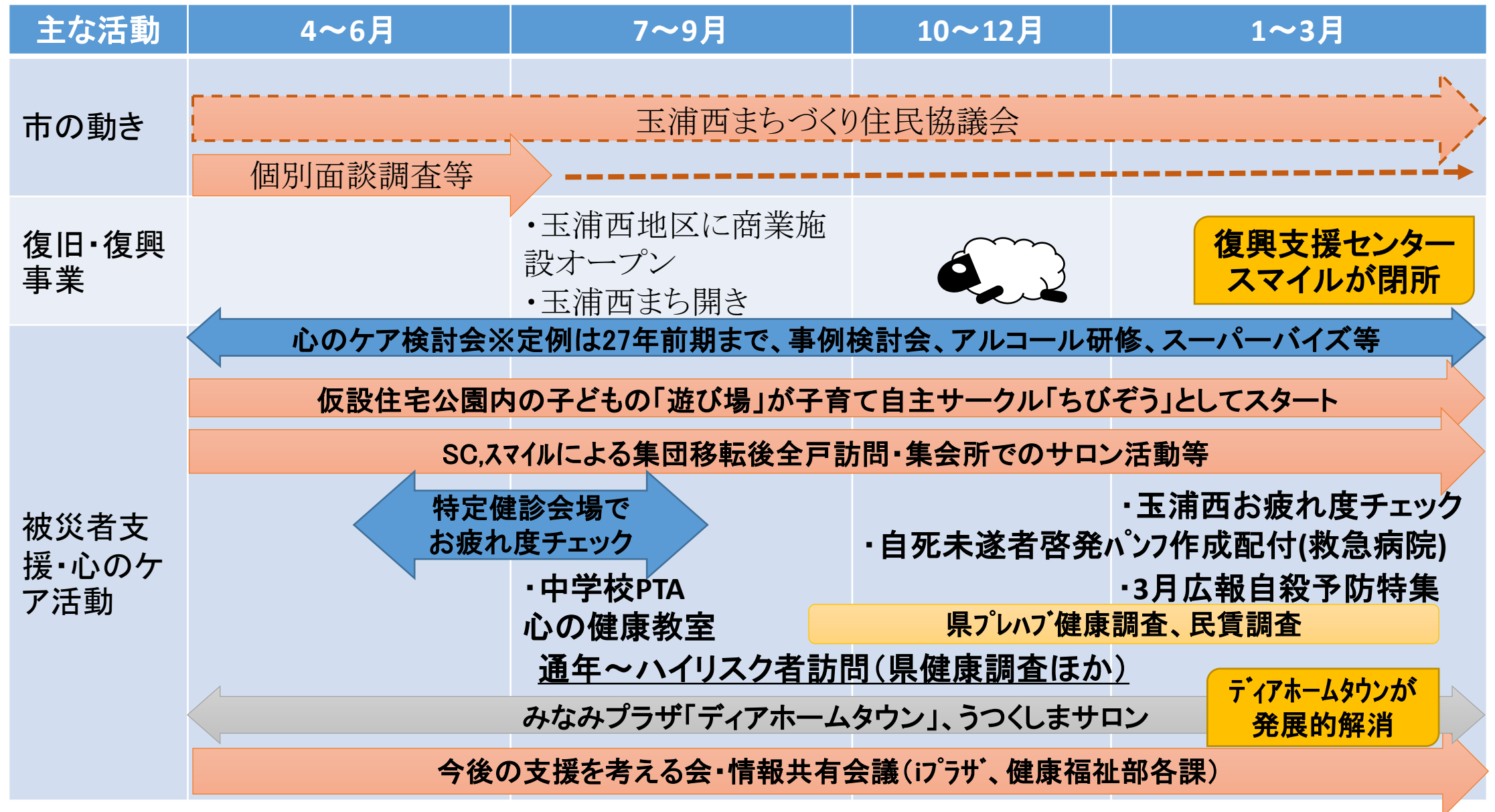
3年目(平成25年度)

主な活動	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
市の動き	・東保育所再開	・震災復興計画マスタープラン改定	・集団移転先町名「玉浦西」決定	玉浦西まちづくり住民協議会発足
	玉浦西地区まちづくり検討委員会			
	被災6地区代表者会、地区懇談会、個別面談調査			
復旧・復興事業	・千年希望の丘第1号完成、植樹祭	・災害公営住宅仮申込	・第1期玉浦西宅地引渡し	・第2期玉浦西宅地引渡し
被災者支援・心のケア活動	心のケア検討会(月1回)、こころのエクササイズ、事例検討会、スーパーバイズ等			
	遺族の語り合い(月1回) ※H26年3月で終了			
	・健康支援「ココからごはん」他アルコール啓発活動	仮設住宅公園で子どもの「遊び場」開催(月1回)		
	県プレハブ健康調査、民賃調査			
	通年～プレハブ、みなし仮設訪問、ハイリスク者訪問(県健康調査ほか)			・3月広報自殺予防特集
	みなみプラザ「ディアホームタウン」、うつくしまサロン			マリン包括設置
	情報共有会議情報共有会議(iプラザ、健康福祉部各課、復興整備課)			
				今後の支援を考える会開始

4年目(平成26年度)

主な活動	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
市の動き	・東児童館再建 ・慰霊碑建立			
	玉浦西まちづくり住民協議会			
	災害公営住宅説明会、個別面談調査			
復旧・復興事業	・災害公営住宅建設起工式 ・第3期玉浦西宅地引渡			・災害公営住宅鍵引渡し、入居開始 ・災害公営建設完了
被災者支援・心のケア活動	心のケア検討会、事例検討会、アルコール研修、スーパーバイズ、ケースレビュー等			
	仮設住宅公園で子どもの「遊び場」開催(年35回)			
		・8月広報心の健康移転特集	・ゲートキーパー養成講座 ・10月広報睡眠特集 ・中学生心の健康教室	・アルコール講演会 ・2月広報アルコール特集
	集団移転を見据えた支援体制の検討作業(調査票作成、移転後訪問等)		SC,スマイルによる集団移転後全戸訪問	
			県プレハブ健康調査、民賃調査	
	通年～プレハブ、みなし仮設訪問、ハイリスク者訪問(県健康調査ほか)			
	みなみプラザ「ディアホームタウン」、うつくしまサロン			
	今後の支援を考える会・情報共有会議(いプラザ、健康福祉部各課、復興整備課)			

5年目(平成27年度)



6・7年目（平成28・29年度）

平成31年度
玉浦西地区に子育て
支援センター開館予定

主な活動	平成28年度	平成29年度
市の動き	スマイルサポートセンターとして新たに始動	・被災者生活支援室が社会福祉課付となる ・介護保険全国サミット開催
復旧・復興事業	・仮設住宅閉所式 ・プレハブ仮設解体工事 ・千年希望の丘交流センター開所 	玉浦コミュニティセンター開所 ・東北みやぎ復興マラソン開催
被災者支援・心のケア活動	・玉浦西お疲れ度チェック ・小学生心の健康教室 県民賃調査	・成人式自殺啓発 ・3月広報自殺予防特集 ・小学校PTA心の健康教室 特定健診会場でお疲れ度チェック 県民賃、災害公営、防災集団移転健康調査 ・3月広報自殺予防特集

玉浦西まちづくり住民協議会

事例検討会、アルコール関連対策（研修・レビュー・訪問・断酒会等）、スーパーバイズ等

子育て自主サークル「ちびぞう」

スマイルサポートセンターによる訪問・集会所でのサロン活動等

通年～ハイリスク者訪問（県健康調査ほか）

みなみプラザ「ウェルカムサロン」・うつくしまサロン

今後の支援を考える会※通年は28年度まで

情報共有会議（iプラザ、健康福祉部各課）

震災後7年間の実践を振り返って

1. 岩沼の被災状況等
2. 1年目～7年目の活動について
3. 主な活動内容と一考察
4. 活動を振り返って

主な活動内容と一考察(岩沼の特徴)

◆集団移転を見据えた支援体制の検討作業を行った

- ・サポートセンター、スマイルの支援の重なり等を整理したかった
- ・住宅再建、災害公営住宅入居＝「自立」と考え、支援を終了するかどうかを見極めたかった⇒“プレハブ審査会”、“民賃審査会”を実施した
- ・集団移転先での活動をどうしていくか検討したい 等々



「今後の支援を考える会」を別枠で設定し支援者間で議論していった

成果：集団移転後全戸訪問と、訪問に使用するアセスメントシート、啓発資料作成

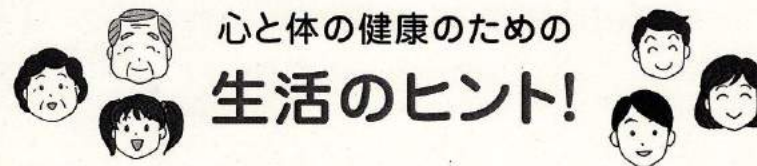
残された課題：スクリーニング、見守りの必要性、心の問題の吸い上げかた(方法)

玉浦西地区に 集団移転される皆様へ

今の生活から引っ越しをして新しい生活や環境になるというのは楽しみがある一方で、中にはご自身が思うよりも心と体への大きい影響を受ける場合もあります。



引っ越しの後に **体や心の不調** を感じたとしたら
どうしたらいいのでしょうか？ 裏面をみましょう



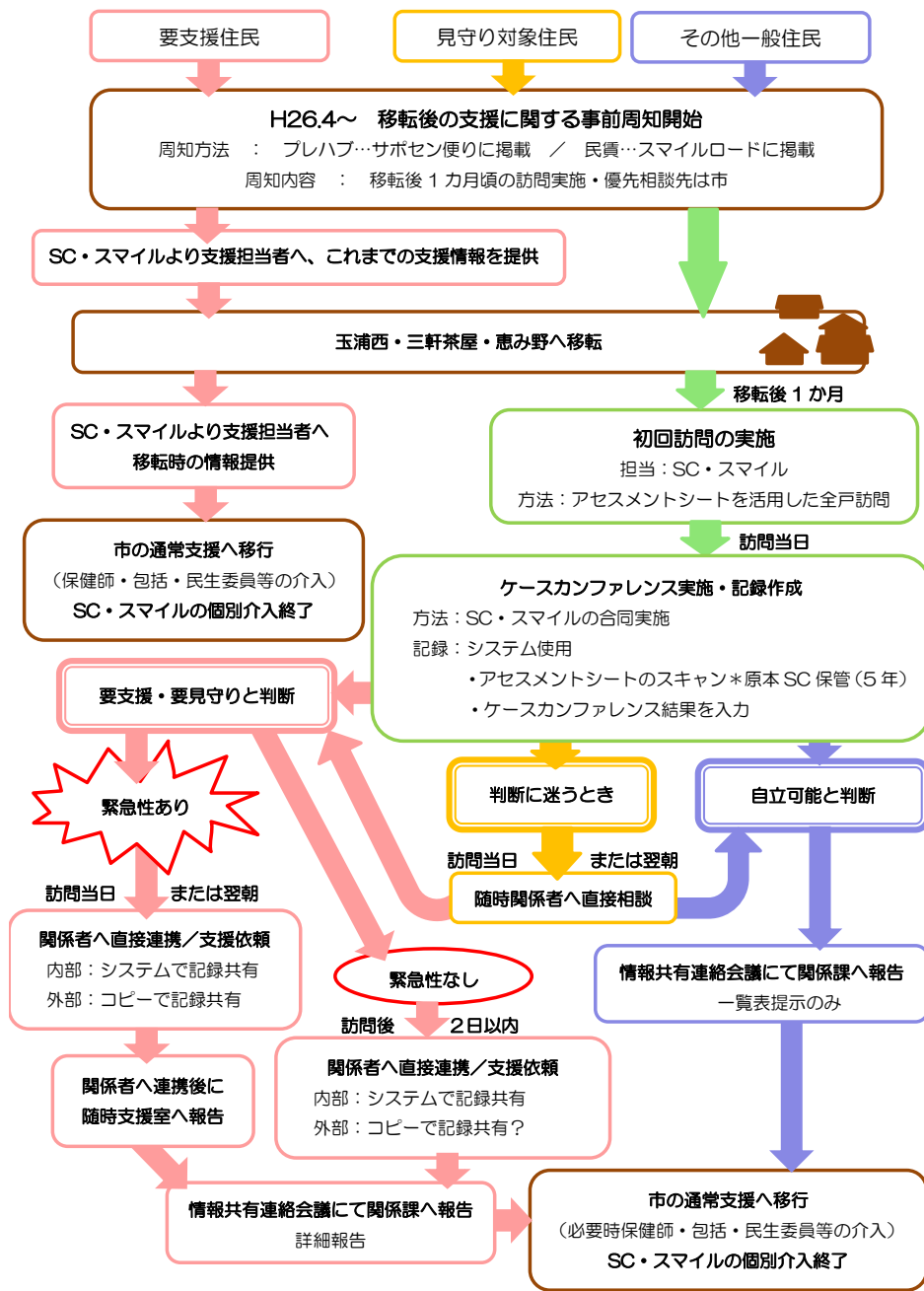
- 趣味や運動など、気晴らしになることをしてみる
例えば、ウォーキング、花を育てる、編み物をする、体操をする…
- 誰かと一緒に過ごす時間をつくってみる
例えば、お茶っこ飲みをする、友達と出かける…
- 適度な休養をとる
例えば、体を休ませる時間をつくるよう心掛ける…
- 一人で考え込まず自分の気持ちを信頼できる人に話してみる
例えば、家族に話す、友達に話す…
- お互いに声をかけあってみる
例えば、すれちがったら挨拶をする…

自分自身で我慢しないで早めに聞いてみることや相談することも大事な事です。
主な相談窓口はこちらですので、参考にしてみてください。

相談内容	相談窓口	連絡先
健康に関すること	健康増進課(市役所3階)	0223-22-1111(内線 347)
子育てに関すること	子ども福祉課(市役所3階)	0223-22-1111(内線 396)
心の相談	社会福祉課(市役所3階)	0223-22-1111(内線 357)
高齢者に関すること	介護福祉課(i あいプラザ)	0223-24-3016
地域福祉活動に関すること	社会福祉協議会(i あいプラザ)	0223-29-3711
住宅再建・生活再建支援制度の相談 災害援護資金貸付制度の相談	被災者生活支援室(i あいプラザ)	0223-35-7751
低所得者生活相談 生活福祉資金貸付制度	社会福祉協議会(i あいプラザ)	0223-29-3711
無料法律相談	法テラス山元(山元町)	050-3383-0213
放射能に関する相談	宮城県原子力安全対策課(県庁)	022-211-3323
被災者の心の相談	みやぎ心のケアセンター	022-263-6615

ご心配な方は、まずは相談してみてください
里の杜サポートセンター ☎ 0223-36-8105
復興支援センタースマイル ☎ 080-5949-7541

集団移転に向けた個別支援介入フローシート（案）



岩沼市 集団移転対象者 初回訪問時面談表

No. _____ 世帯主 _____											
日時: _____ : _____ ~ _____ : _____ □ 電話訪問 □ 調査表											
現住所	岩沼市玉浦西	0	丁目	0	-	0	連絡の取れる電話番号	持ち主	転入日		
旧住所	岩沼市	区分		被災住所	岩沼市		被災地区	居住開始日			
↓ 面談者にチェック							* 入居実態なし (住民票登録あり) □ 調査表記載者不明				
①	☐	世帯主		才	④	☐	世帯主から見た経緯	才	⑦	☐	世帯主から見た経緯
②	☐	世帯主から見た経緯		才	⑤	☐	世帯主から見た経緯	才	⑧	☐	世帯主から見た経緯
③	☐	世帯主から見た経緯		才	⑥	☐	世帯主から見た経緯	才	⑨	☐	世帯主から見た経緯
1. 移転前と今と比べて変わりがある方の有無											
□ いない □ いる □ 「わからない」 □ 確認できず											
* 「いる」⇒「だれが」を () へ記入											
□ 転んだ／転びやすくなった () □ 以前に比べ出かけなくなった ()											
□ 食欲がない () □ 眠れない・眠りが浅い ()											
□ 気分が落ち込む () □ 体調が悪くなった ()											
□ 飲酒量が増えた () □ 何もすることがない ()											
□ その他 ()											
2. 日中の過ごし方											
3. 移転後の人付き合いの変化											
□ なし □ あり □ 「わからない」 □ 確認できず											
* 「なし」「あり」⇒ 詳細確認											
4. 移転後に困りごとのある方の有無											
□ いない □ いる □ 「わからない」 □ 確認できず											
* 「いる」⇒ □ 金銭 □ 健康 □ 家族 □ 移動 □ 町内会 □ 子育て □ 介護 □ その他											
* 相談希望 ⇒ □ あり □ なし											

主な活動内容と一考察（心のケア）

①ハイリスク者をみつけて対応、重症化を予防

- ・全戸訪問しハイリスク者支援
- ・県健康調査、生活調査に基づいた支援
- ・健診結果から節酒支援訪問

②支援者に力をつける（＝人材育成）

- ・ゲートキーパー養成講座
- ・セルフケア研修
- ・心のケア検討会

③住民に力をつけるための啓発

- ・心の健康チェック
- ・広報、全戸配付を活用した周知
- ・子どものあそび場

心のケア検討会について

平成24年1月～（協力）みやぎ心のケアセンター

目 的：支援者の震災後の心のケアに関する資質の向上ならびに支援者同士の連携による課題の検討と共有を図ることにより、被災者の心のケアの充実に資すること

対象者：被災者の心のケアに関係する支援者

内 容：研修、事例検討、部署を超えた横断的な情報課題共有、対策の検討、被災者心のケアに関する支援者支援

テーマ：「アルコール依存症～本人・家族への援助を考える」

「うつ病・うつ状態の基本と対応」「住民健診のチェックポイント」

「認知症について知っておくべきこと」「自殺予防について」等

震災後7年間の実践を振り返って

1. 岩沼の被災状況等
2. 1年目～7年目の活動について
3. 主な活動内容と一考察
4. 活動を振り返って

活動を振り返って

- 健康調査を、一見切れ目なく実施しその都度支援しているが実は断片的で住民それぞれのケース管理に至っていない(せっかくの住民個別支援が台帳管理まで至らなかった...)⇒

組織的なこと？

- 心の復興、心のケアには終わりはない、スクリーニングして出てきたケースを支援するパターン⇒必要だけど切りがない

アセスメントシートを使わなくても吸い上げられるにはどうすればいい？

- 支援を無理に切るのではなく、どうかたちに変えていかなければならないか、の段階に来ている⇒

地域包括ケアシステム、地域共生社会をまわすこと？

現在の玉浦西

2015.7.19/まち開き・感謝祭



撮影：首都大学東京 地理情報学研究室 泉岳樹氏



商業施設



太平洋

玉浦西

仙台空港

岩沼IC



被災者の生きがい
創出の取り組み
(岩沼ひつじ)

ご静聴ありがとうございました

